

2023年5月31日

各 位

A b a l a n c e 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 光 行 康 明
(コード番号 3856 東証スタンダード)
問合せ先: 執行役員 IR 広報室長兼経営企画室長 堀内信之
電 話 : 0 3 - 6 8 1 0 - 3 0 2 8 (代 表)

米国での太陽光パネル製造工場新設の検討について

当社グループのベトナム VSUN 社は、今般、米国において、太陽光パネル製造の新工場建設に係る米国市場への直接投資を視野に、具体的な検討を開始し、工場建設候補地の視察を行いましたので、お知らせいたします。

地球環境温暖化への強い危機感から、世界的に再生可能エネルギーへの需要が高まり、主要7カ国(G7)気候・エネルギー・環境相会合は、太陽光発電の導入量を2030年までに10億キロワット以上と、現状の3倍強に増やす旨を採択しました。

特に、米国ではバイデン大統領が2022年8月に署名して成立した「歳出・歳入法(インフレ抑制法)」に、CO₂の排出量削減のため、今後10年間で約4,000億ドル(約56兆円: 1米ドル:140円換算)の予算を投じる計画が盛り込まれております。米国政府当局も近年米国製(内製化)について積極的に推奨しており、米国での太陽光パネル製造も積極的にバックアップする姿勢を示しております。

このような再生可能エネルギーを巡る外部環境のなか、太陽光パネル製造事業を営むVSUN社は、ベトナム国バクザン省、バクニン省に、パネル製造工場を有し、2023年1月には第4工場が本格稼働に入るなど、パネル生産能力を拡張しております。

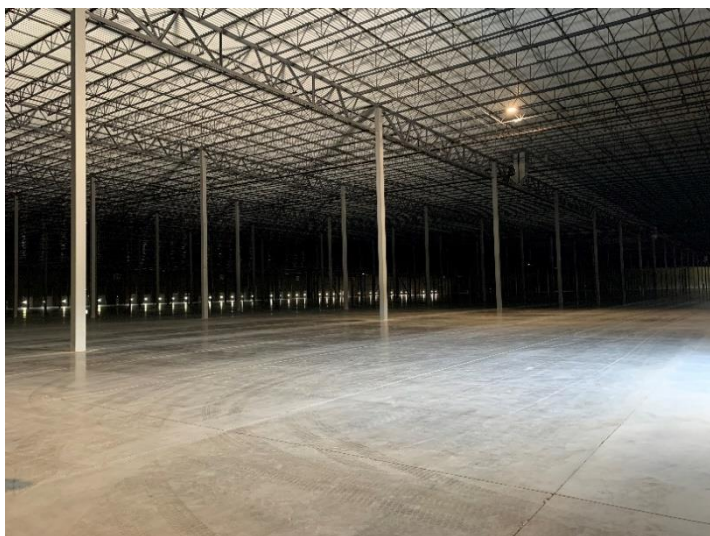
VSUN社の地域別売上構成は、米国向け6-7割弱、欧州向け2-3割、及びその他地域(南米、アフリカ、アジア等)であり、欧米市場のパネル需要は拡大基調が続いていることから、VSUN社の生産能力向上を重要な経営課題の一つと位置付けております。

当社グループは、従前より、ベトナム国以外でのパネル製造工場の候補地を調査・検討して参りましたが、この度、当社グループ幹部、VSUN社の経営幹部及び現地スタッフが米国での工場建設候補地の視察を行い、地元セクターからも歓迎を受けました。

米国市場では、今後10年間に太陽光発電容量が570GW以上増加し、2033年には700GWに達すると見込まれ、今後の米国市場における競争優位性を早期に確保すべく、米国市場へのパネル生産工場に係る新設計画を具体的に検討して参ります。

なお、本件について、具体的なスケジュール、工場建設の場所、建設資金等は検討過程にあるため、決定次第、速やかに公表いたします。

【米国視察の風景・様子】





【お問い合わせについて】

本件に関するご質問等については、当社のホームページ(<https://www.abalance.jp/>)のお問い合わせより、「業績・決算・IR について」を選択いただき、内容をご送信願います。

以 上